

水稻の農薬種類 殺虫・殺菌剤

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

播種前消毒

■ タチガレン粉剤 (床土消毒)



■ ダコニール粉剤 (床土消毒)



■ ダコレート水和剤 (苗消毒)



■ ダコニール1000 (苗消毒)



■ トリフミン乳剤 (種子消毒)



箱処理剤

■ ブイゲットアマイヤー粒剤

- いもち病の感染を抑制します。
- ウンカ類やツマグロヨコバイに対して長期間有効です。



■ ツインターポフェルテラ箱粒剤

- いもち病に対して長い残効性があります。
- イネミズゾウムシ、イネドロオイムシが多く発生する圃場におすすです。



■ トリプルキック箱粒剤

- いもち病に対して高い防除効果と長い残効性があります。
- 稲こうじ病、紋枯病が発生しやすい圃場に有効です。



本田防除剤

■ ビームバシボン粉剤DL

- 出穂前の穂いもちと紋枯病、ウンカ、ヨコバイ類、カメムシ類を同時に防除できます。



■ コラトップトレボン粒剤

- いもち病やニカメイチュウ、ウンカ、ヨコバイ類を同時に防除できます。



■ スタークル豆つぶ

- 斑点米、カメムシ類の防除に優れた効果を発揮します。



〈豆つぶ剤を使ったことがありますか？〉

10aあたり250gと軽量で、水面に浮いて自分で広がる新しい農薬です。

〔豆つぶ剤の特徴〕

- ① 拡散性に優れているので、安定した除草処理層を作ります。
- ② 軽量で疲れません。
- ③ 手まき散布やひしゃく散布の他に動力散布機や小型無人飛行機（農業用ドローン）にも対応しています。
- ④ 風によるドリフトが少ない。



水稻の農薬種類 除草剤

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

初期剤

■ ショキニーフロアブル

- ノビエ、ホタルイが多い圃場におすすめです。
- * 例年、雑草が多い圃場には、初期剤と一発剤、もしくは中期剤との体系処理がおすすめです。



初中期一発剤

■ エンペラー ジャンボ ■ エンペラー 1キロ粒剤

使用時期 移植直後～移植後30日
(ノビエ3葉期まで)
(粒剤は収穫75日前まで)

- ヒエ、ホタルイ、コナギや畦畔から侵入するイボクサ等に高い効果を示します。
- 藻類を抑制する効果もあります。



中期剤

■ マメットSM ジャンボ ■ マメットSM 1キロ粒剤

使用時期 移植後20日～60日
(粒剤は移植後
15日～60日)

- 3.5葉期までのノビエやSU抵抗性雑草に有効です。



■ セカンドショットS ジャンボMX

使用時期 移植後14日～
ノビエ3.5葉期まで
(収穫45日前まで)

- ノビエ、広葉雑草が多い圃場におすすめです。



後期剤

■ トドメMF1キロ粒剤

使用時期 移植後14日～
ノビエ5葉期まで
(収穫50日前まで)

- 高齢期のノビエに高い効果を示します。
- 処理時に水を深く(5～7cm)することで効果が安定します。



■ シアゲMF1キロ粒剤

使用時期 移植後20日～
ノビエ4.5葉期まで
(収穫60日前まで)

- 高齢期のノビエ、多年生雑草(クログワイ、オモダカ等) 一年生広葉雑草(コナギ、アゼナ等)に効果があります。
- 処理時に水を深く(5cm以上)することで効果が安定します。



■ バサグラン粒剤

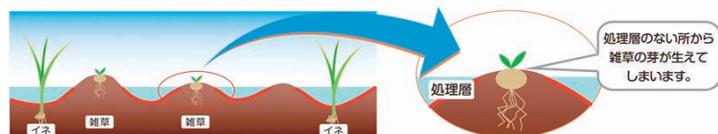
使用時期 移植後15日～55日
(収穫60日前まで)

- ホタルイ等の広葉雑草に良く効きます。
- 落水した状態で使用してください。



〈除草剤を上手に使うためのチェックポイント〉

- 散布前にたっぷり灌水
- 畦畔の水漏れがないか確認
- 7日間は落水、かけ流しをしない
- 散布後は田んぼに入らない
- 入水はなるべく静かに



特にジャンボ剤は、薬剤が溶けて水面を広がっていく特徴があるので、下記も要チェック!

- 風が強い日は散布を避ける
- 藻が発生する前に散布する(水面に何か浮いていると広がりにくい)